

地域別計画

第1ブロック

松江・木本・西脇・加太地区

第2ブロック

貴志・野崎・湊・楠見地区

第3ブロック

有功・直川・紀伊・川永・山口地区

第4ブロック

西和佐・和佐・小倉・四箇郷地区

第5ブロック

三田・岡崎・安原・西山東・東山東地区

第6ブロック

宮・宮前・宮北地区

第7ブロック

雑賀・雑賀崎・田野・和歌浦・名草地区

第8ブロック

吹上・砂山・今福・高松地区

第9ブロック

本町・城北・雄湊・中之島地区

第10ブロック

新南・大新・広瀬・芦原地区

1 地域別計画の基本的な考え方

(1) 策定趣旨

本市は、昭和30年代のいわゆる「昭和の大合併」により、現在の市域が形成され、歴史や地理的要因などを背景に、豊かな自然と田園で構成される地域、市街化が進んだ地域、漁業が盛んな海辺の地域、観光地として発展してきた地域など、それぞれの特性を持つ地域の集合体として発展してきました。

本市を取り巻く社会状況に目を向けると、少子高齢化が加速する中、地域づくりに関する住民のニーズは多様化してきています。このような現状において、今後、市民生活の質を維持・向上させていくためには、住民が自分たちの地域に愛着を持ち、「自分たちの地域は自分たちで良くする」という意識を育み、住民主体の「共助」のまちづくりを一層進めていく必要があります。

そのためには、自分の身近な地域において、今後、どのような地域づくりが行われるのかを知ることが大切です。

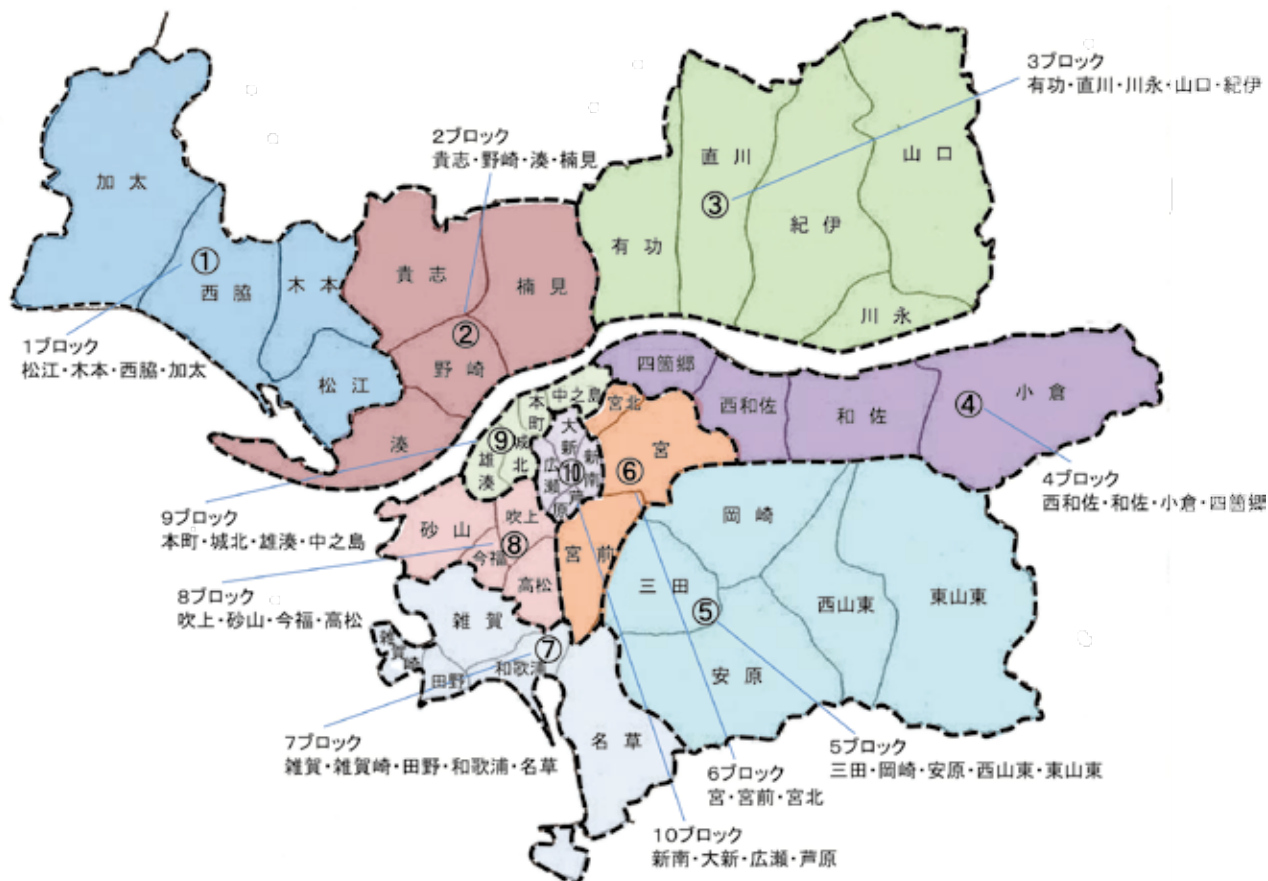
そこで、市内をいくつかのブロックに分け、それぞれの地域特性とそれを生かした地域づくりの基本的な考え方を明らかにするとともに、分野別目標に盛り込まれる様々な取組のうち、主なものを、10ブロックのエリアごとに整理したものに加えて、市の取組のほか、地域住民の方々が「より良い地域づくり」のために、「主体的に取り組んでいることや取組もうとしていること」についても盛り込んだ「地域別計画」を策定することにより、住民主体の地域づくりの推進を図ります。

(2) 地域の区分

本市には、平成28年（2016年）4月1日時点で、1,147の自治会があり、これが一定の地区ごとにまとまった42の連合自治会があります。さらに、42の連合自治会が10のブロックを構成し各ブロック内で複数の連合自治会が有機的につながり、住民自治が進められています。

そこで、今回策定する地域別計画も、この10ブロックに区分します。

ブロック	地区	ブロック	地区
①	松江、木本、西脇、加太	⑥	宮、宮前、宮北
②	貴志、野崎、湊、楠見	⑦	雑賀、雑賀崎、田野、和歌浦、名草
③	有功、直川、紀伊、川永、山口	⑧	吹上、砂山、今福、高松
④	西和佐、和佐、小倉、四箇郷	⑨	本町、城北、雄湊、中之島
⑤	三田、岡崎、安原、西山東、東山東	⑩	新南、大新、広瀬、芦原



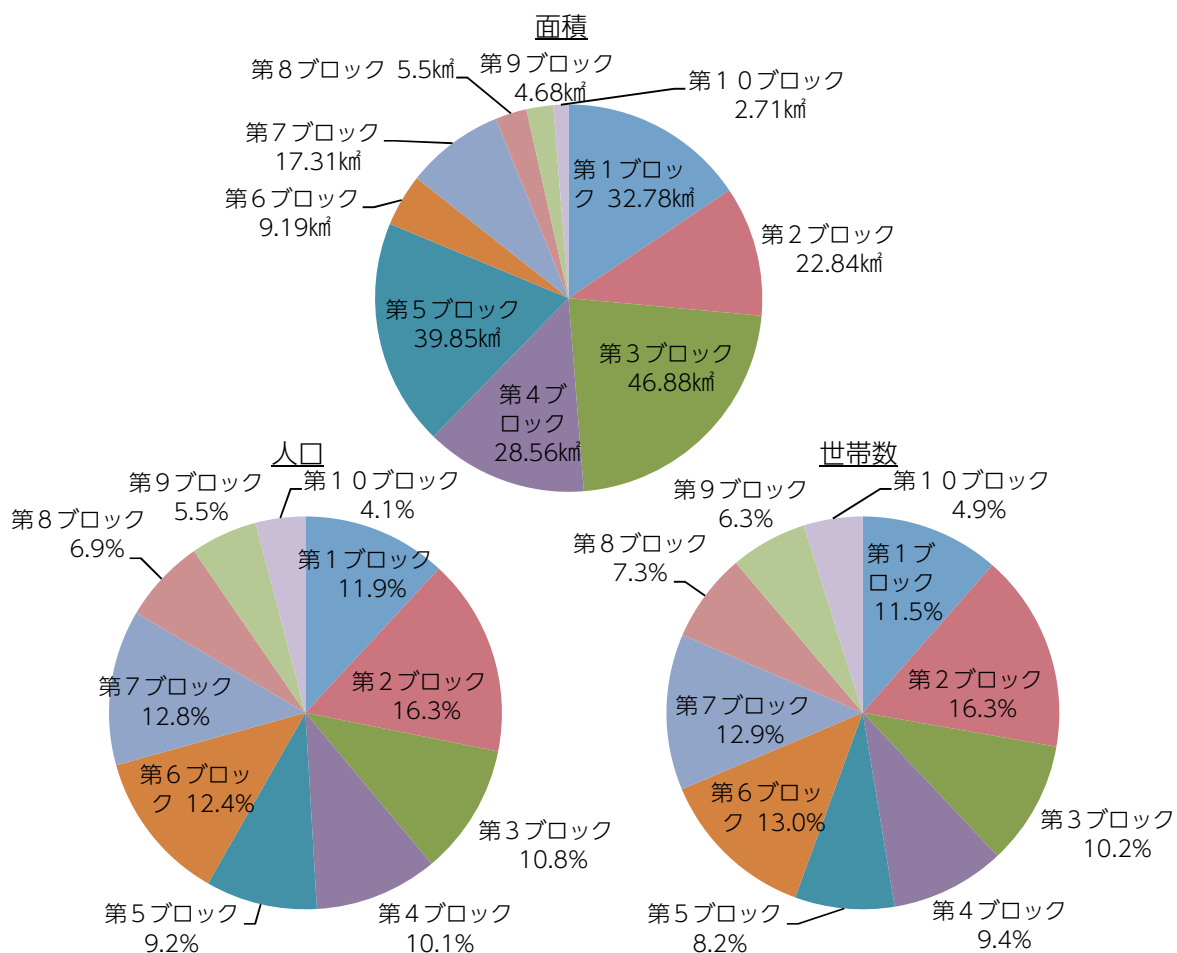
2 地域の現況

項目	第1ブロック	第2ブロック	第3ブロック	第4ブロック	第5ブロック	
面積	32.78km ²	22.84km ²	46.88km ²	28.56km ²	39.85km ²	
人口	43,223人	59,246人	39,274人	36,941人	33,478人	
	男 20,608人	28,508人	18,443人	17,286人	15,824人	
	女 22,615人	30,738人	20,831人	19,655人	17,654人	
世帯数	17,533世帯	24,934世帯	15,677世帯	14,435世帯	12,546世帯	
平均世帯人員	2.5人	2.4人	2.5人	2.6人	2.7人	
年齢別人口構成比	0~14歳	12.0%	14.3%	12.5%	12.8%	13.8%
	15~64歳	57.7%	60.6%	56.7%	59.8%	57.7%
	65歳以上	30.3%	25.1%	30.8%	27.4%	28.5%
産業別従業者比率	第一次産業	2.2%	0.3%	0.5%	0.2%	0.0%
	第二次産業	18.0%	31.7%	18.2%	33.8%	41.2%
	第三次産業	79.8%	68.0%	81.3%	66.0%	58.8%

項目	第6ブロック	第7ブロック	第8ブロック	第9ブロック	第10ブロック	
面積	9.19km ²	17.31km ²	5.5km ²	4.68km ²	2.71km ²	
人口	45,295人	46,617人	25,045人	20,129人	14,906人	
	男 21,302人	21,777人	11,425人	9,204人	6,838人	
	女 23,993人	24,840人	13,620人	10,925人	8,068人	
世帯数	19,955世帯	19,679世帯	11,215世帯	9,669世帯	7,446世帯	
平均世帯人員	2.3人	2.4人	2.2人	2.1人	2.0人	
年齢別人口構成比	0~14歳	12.0%	11.4%	11.4%	9.7%	8.8%
	15~64歳	59.9%	57.9%	56.8%	56.8%	57.4%
	65歳以上	28.1%	30.7%	31.8%	33.5%	33.8%
産業別従業者比率	第一次産業	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
	第二次産業	23.0%	15.7%	28.0%	10.6%	8.4%
	第三次産業	76.9%	84.2%	72.0%	89.4%	91.5%

出所 総務省「平成27年国勢調査」

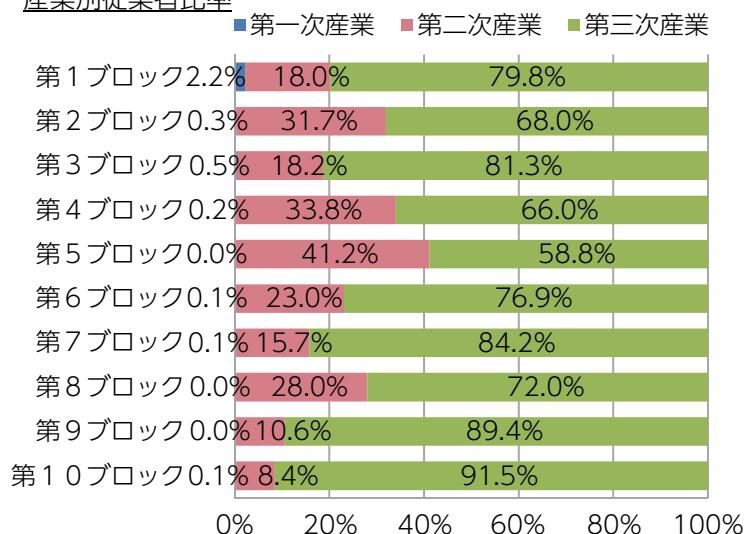
総務省「平成26年経済センサス-基礎調査」の調査票情報（民営事業所）を基に和歌山市作成
 ※面積は、平成26年3月4日時点の参考値です。



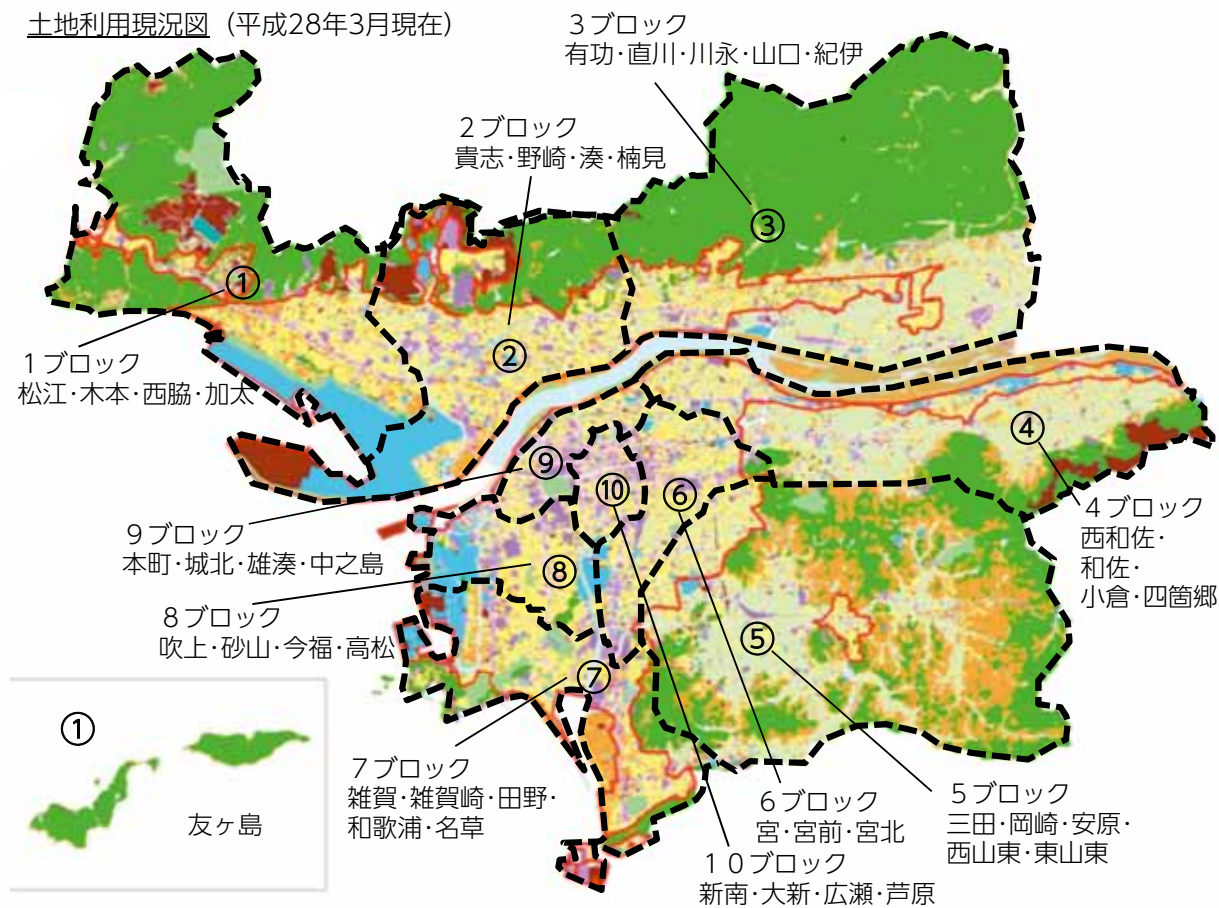
人口密度



産業別従業者比率



土地利用現況図 (平成28年3月現在)

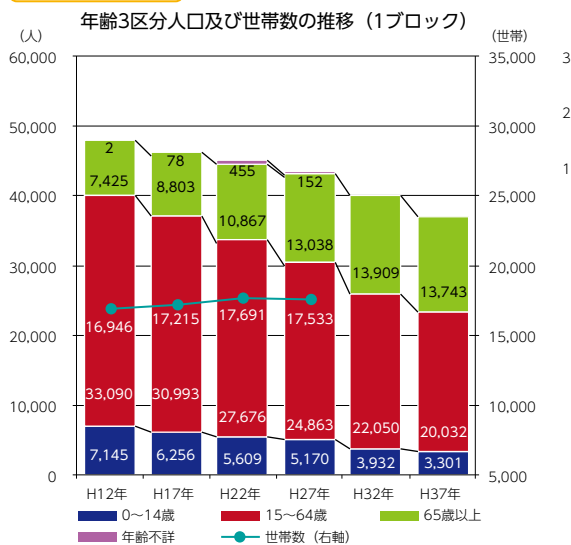


凡 例

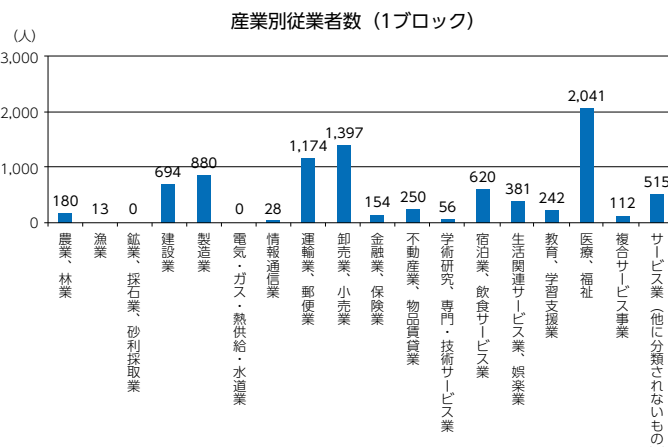
分		類		
田	水田		工業用地	運輸倉庫施設、重工業施設、軽工業施設、サービス工業施設、家内工業施設、危険物貯蔵・処理施設
畑	畑、樹園地、採草地、ビニールハウス		公的施設用地	官公庁施設、文教厚生施設、処理場、浄水場、火葬場、発電所、変電所
山林	樹林地		道路用地	道路、駅前広場
水面	河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面		交通施設用地	自動車ターミナル、立体駐車場、鉄道用地、空港、港湾
その他の自然地	原野・牧野、荒地、低湿地、河川敷、河原、海辺、湖岸		公共空地	公園・緑地、広場、運動場、墓苑
住宅用地	住宅、共同住宅、店舗併用住宅、店舗併用共同住宅、作業所併用共同住宅		農業用施設用地	農業用倉庫、温室、船小屋、農林漁業用作業場
商業用地	業務施設、商業施設、宿泊施設、娯楽施設、遊戯施設、商業系複合施設		その他の空地	変更工事中の土地、未利用地、平面駐車場、ゴルフ場
市街化区域界				

第1ブロック 松江・木本・西脇・加太地区

人口等の状況



※平成32年、37年の年齢3区分人口については、社人研による推計値を基に算出しています。（以下各ブロックにおいて同じ。）



《地域の特性》

- 本ブロックの北部は山林、南・西部は海に面しており、自然景観に恵まれた地域となっています。
- 加太地区の一部を除き住宅地は、南海電鉄加太線や西脇山口線、粉河加太線沿線をはじめとして東西に長く伸びています。加太地区は、南海加太駅から淡嶋神社までのエリアが主に住宅地として利用されています。
- 南海電鉄加太線や西脇山口線、粉河加太線により、市中心部や北東部と、また、岬加太港線によって大阪府とも結ばれています。
- 和歌山ろうさい病院は、和歌山保健医療圏における地域災害拠点病院^{*189}であるとともに、地域医療支援病院^{*184}、県がん診療連携推進病院^{*35}としての役割を担っています。
- 万葉歌人の創作対象となったといわれる「形見の浦」をはじめとする海岸美だけでなく、山も近く自然豊かな地域で、友ヶ島、深山砲台跡、加太海水浴場、磯の浦海水浴場、温泉宿泊施設などの豊富な資源を活用した観光業が盛んとなっています。また、豊かな漁場に恵まれていることから漁業が盛んで、一本釣りなどの伝統漁業が現在も残っています。
- コスモパーク加太は、企業用地や広域防災拠点として土地利用が進められています。
- 河西コミュニティセンター^{*90}、西保健センター、全天候型を含む20面のコートを有するつつじが丘テニスコートなどの施設や、サーフィンが盛んな磯の浦海岸など、文化・健康・スポーツに親しめる環境があります。
- 雑流し等が行われる淡嶋神社、えび祭りが行われる加太春日神社、木ノ本の獅子舞が行われる木本八幡宮、車駕之古址古墳などの歴史・文化資産があります。松江春日神社の祭りでは近隣幼稚園の園児が踊りの奉納などを行っています。
- 子供の見守り、防犯、防災、避難訓練、祭り、漁業、観光振興、緑地の保全活動等の取組を地域住民自らが考え実施しています。また、それらの取組を通じて人を育て地域や地場産業^{*114}を守るとともに、安全・安心な地域づくりを行っています。



つつじが丘テニスコート



木ノ本の獅子舞

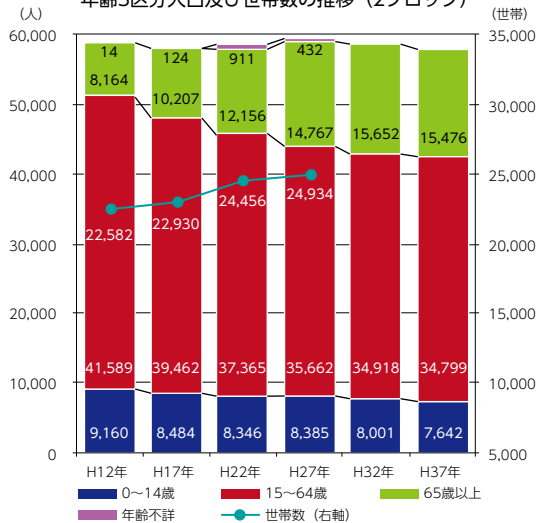


古屋特別緑地保全地区

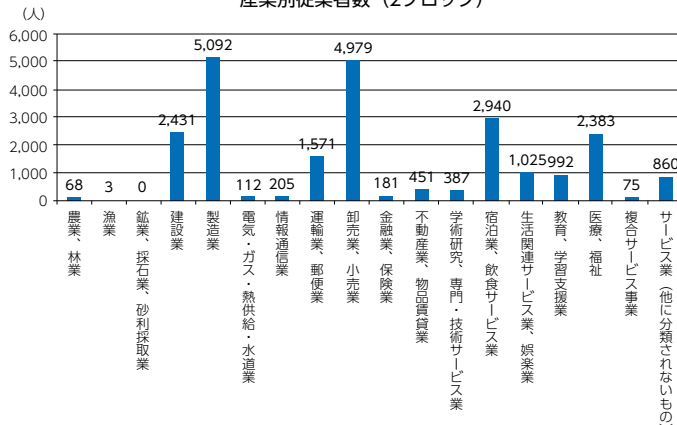
第2ブロック 貴志・野崎・湊・楠見地区

人口等の状況

年齢3区分人口及び世帯数の推移（2ブロック）



産業別従業者数（2ブロック）



《地域の特性》

- 本ブロック内の広範囲に住宅地が形成されており、臨海部や幹線道路沿いには工業・商業施設が集積しています。南海和歌山大学前駅周辺では、大規模な宅地開発が進むとともに、小学校が開校し、大型商業施設も立地するなど、新たな市街地の形成が進んでいます。
- 大阪に近い北部に和歌山大学が立地しており、周辺地域では小・中学生等と和歌山大学生との交流活動も行われています。また、地域の歴史等を子供たちに継承するなど、子供を地域全体で育てる活動が展開されています。
- 淡輪ランプから平井ランプ間の第二阪和国道*¹⁷⁹の開通により大阪方面への交通アクセスが飛躍的に改善されるとともに、市北部を横断する西脇山口線との結節点となっています。
- 本市の特産品である新しょうがが紀の川河口付近の農地を中心に栽培されています。また、近年、新しょうがを丸搾りにしたジンジャーエールの販売量が伸びています。
- 総持寺、大谷古墳、大年神社などの歴史・文化資産があります。また、戦国時代に勇名を轟かせた雑賀衆の本拠もこのブロックにあったとされています。
- 本ブロック内の一部地域では、独自に防犯カメラの設置や災害備蓄に取り組むほか、ぼうはんパトロール犬*²⁵³による子供の見守り活動や地域防災訓練の実施など、安全・安心に向けた地域づくりが行われています。

また、地域の祭り、ミニ運動会など子供を中心に多世代が交流できる活動が積極的に展開されるとともに、自治会独自の広報紙を通じて地域活動の周知を行い、地域住民の交流促進を図っている地域も存在します。



総持寺



大谷古墳



大年神社

《地域づくりの基本的な考え方》

- 戦後に発展してきた工業と近年立地が進んできた商業の振興を図るとともに、良好な住環境づくりに努めます。
- 和歌山大学を含む地域が協力し、地域の歴史等を継承する活動や子供を中心に多世代の交流を通して、自らの地域に愛着を持てる子供の育成に努め、子供の豊かな成長を支援していきます。
- 全国屈指の生産量を誇る新しょうがの更なるブランド化に努めるなど、付加価値の高い都市近郊型の野菜づくりを進めます。
- 雑賀衆の本拠があったとされる地域では、雑賀孫市をテーマとして振興を図るなど、地域の歴史・文化を生かした住民主体の地域づくりに取り組みます。
- 安全・安心な地域づくりを推進するため、ぼうはんパトロール犬による見守り活動等を継続し、良好な地域コミュニティの維持向上と防犯体制の強化を図ります。また、災害に備えるため地域で実施している防災訓練等を継続し、災害に強い人づくり、地域づくりに取り組みます。



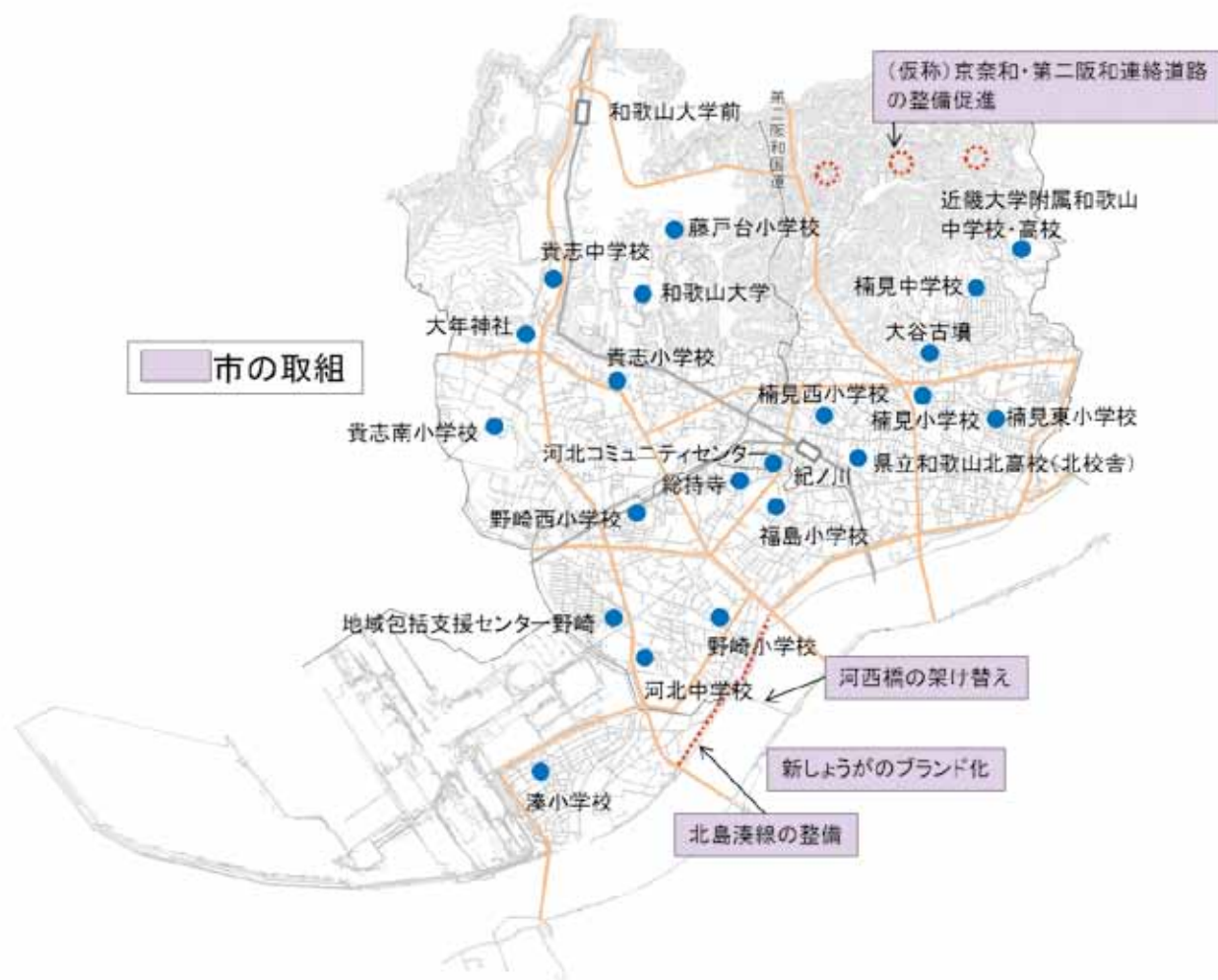
和歌山大学



新しょうが



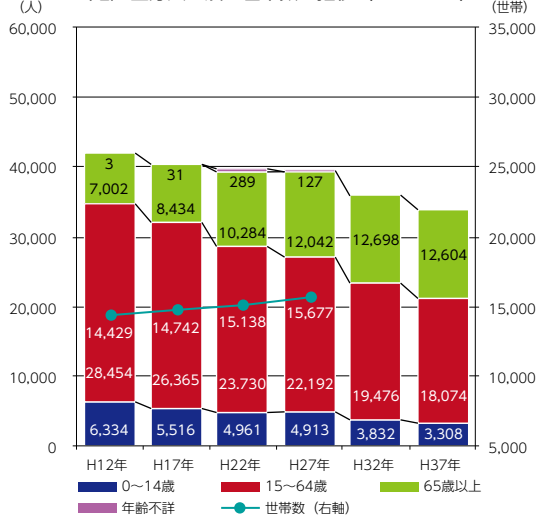
ぼうはんパトロール犬による子供の見守り



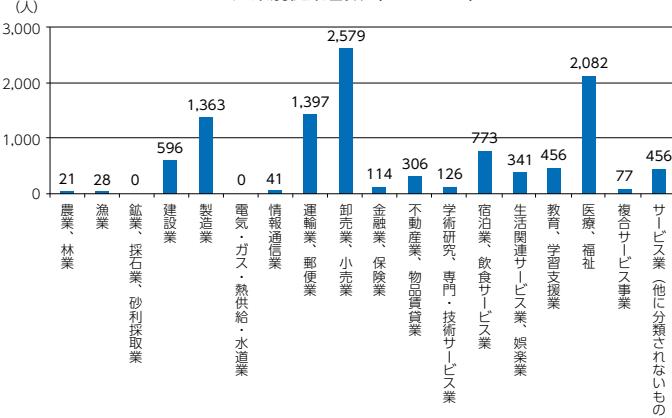
第3ブロック 有功・直川・紀伊・川永・山口地区

人口等の状況

年齢3区分人口及び世帯数の推移 (3ブロック)



産業別従業者数 (3ブロック)



《地域の特性》

- 本ブロックの北は大阪府、東は岩出市に隣接しており、ブロックの中・東部は山林や田畑をはじめとする豊かな自然環境に恵まれています。また、西部の高台には、高度経済成長期に開発された大規模な住宅地もあります。
- JR六十谷駅、紀伊駅周辺や粉河加太線、国道24号沿いに学校や病院など、生活拠点としての機能が集積しています。特に紀伊駅は、近隣住民のみならず、近畿大学生物理工学部の学生など、大阪府や岩出市、紀の川市からの利用客も多い状況です。
- 和歌山北インターチェンジ周辺においては、西脇山口線の延伸により交通の利便性がさらに向上することが期待されています。
- 熊野古道、上野廃寺跡、射矢止神社、力侍神社、墓の谷、滝畑のホテルなど、歴史・自然に関する地域資源が数多く存在しています。
- 学校等を核とした夏祭り、文化祭り、防災訓練など、住民相互の助け合いや福祉・防災分野をはじめとした住民主体のまちづくりが盛んです。



JR紀伊駅



力侍神社



滝畑の集落と熊野古道



墓の谷

《地域づくりの基本的な考え方》

- 市街化が進んでいる西部については、良好な市街地の形成に努めるとともに、中・東部については、駅や小学校等を中心とした地域の生活拠点の形成により、日常生活の利便性の維持向上に努めます。
- 市北部の東西幹線軸となる西脇山口線の整備を進めます。
- 山林や田畑など、豊かな自然環境に恵まれた中・東部については、その保全に努めるとともに、農業振興を図ります。
- 和歌山北インターチェンジ周辺については、交通の利便性を生かし産業集積と環境保全の両立をめざします。
- 豊かな自然環境を活用し、子供にやさしい地域づくりを進めます。
- 墓の谷や熊野古道をはじめとした文化的資源などを活用し、地域住民の健康増進を図るとともに、賑わい創出につなげます。
- 夏祭り・文化祭りや中央構造線直下型地震を想定した防災訓練、小学校や福祉施設を核とした各種団体の活動などを通じて地域の絆を深め、子供から高齢者まで元気でいきいき暮らせる地域をめざします。



防災訓練の様子



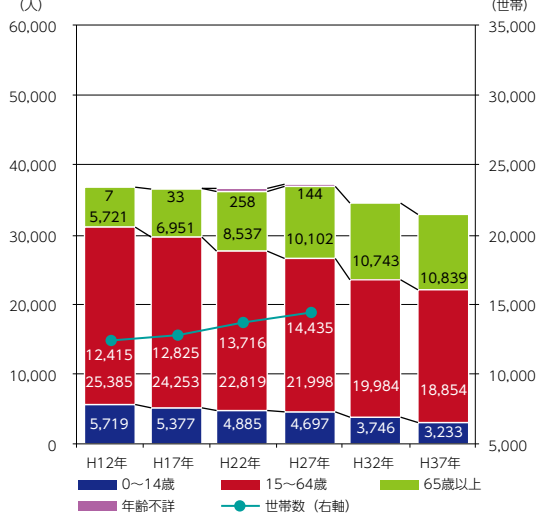
夏祭り



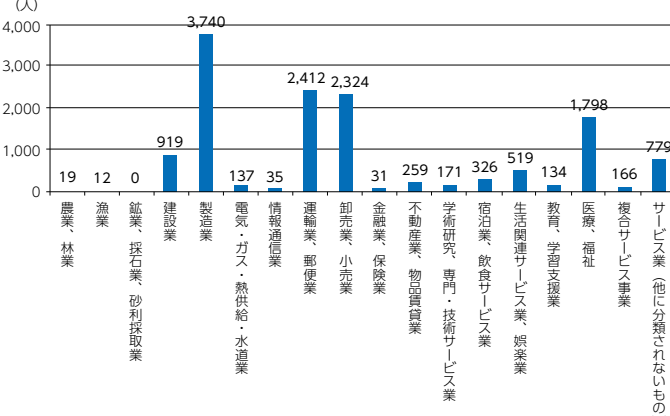
第4ブロック 西和佐・和佐・小倉・四箇郷地区

人口等の状況

年齢3区分人口及び世帯数の推移（4ブロック）



産業別従業者数（4ブロック）



《地域の特性》

- 本ブロックは市の東の玄関口となっており、ブロックの東部から中部にかけては、二毛作に適した田畑をはじめとする豊かな自然環境に恵まれています。また、ブロックの西部では住宅地や商業集積が見られます。
- 地域を横断するJR和歌山線は公共交通機関として地域生活を支えるとともに、市駅和佐線、国道24号が横断しています。
- 産業面では、紀の川沿いに工業団地が形成されているとともに、和歌山インターチェンジを活用した運輸業も存在し、製造業と運輸業の比率が高くなっています。
- 加納浄水場や水ときらめき紀の川館などの施設が立地し、市域全体の生活水の供給源となっています。
- 国指定特別史跡の岩橋千塚古墳群や国指定重要文化財である旧中筋家住宅、また、熊野古道や大和街道が通るなど、歴史・文化資産が多く存在します。
- より良い地域づくりに向けた住民主体の取組が活発になりつつあります。



加納浄水場



岩橋千塚古墳群(紀伊風土記の丘)



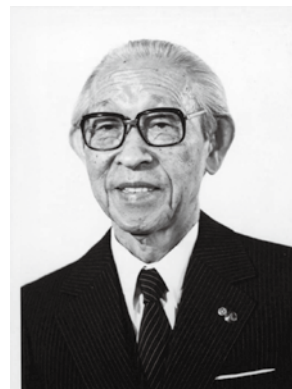
旧中筋家住宅



文化祭の様子

《地域づくりの基本的な考え方》

- 市街化が進んでいる西部については、良好な市街地の形成に努めるとともに、中・東部については、駅や小学校等を中心とした地域の生活拠点の形成により、日常生活の利便性の維持向上に努めます。
- 幹線道路及び地域の生活拠点へのアクセス道路の整備を進め生活の利便性向上を図ります。
- 山林や田畑など、豊かな自然環境に恵まれた中・東部については、その保全に努め、農業振興を図ります。
- 紀の川堤防沿いに発展している工業地域においては、既存産業の活性化を促進します。
- 旧中筋家住宅、熊野古道、偉人ゆかりの地などの歴史的資源、自然が残る紀の川河川敷などの保全・活用に努めるとともに、地域住民による環境を生かしたハイキングコース設定などにより、賑わいづくりを促進します。
- より多くの地域住民の参画により、文化祭りなどの開催や岩橋千塚古墳群の保全活動などに取り組むことで、人々の絆を深めるとともに、一人暮らしの高齢者への充実した食事サービスや子供の見守り活動に積極的に取り組むことで、互いに支え合える充実したコミュニティを形成し、高齢者や子育て世代など、誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざします。



名誉市民 松下幸之助

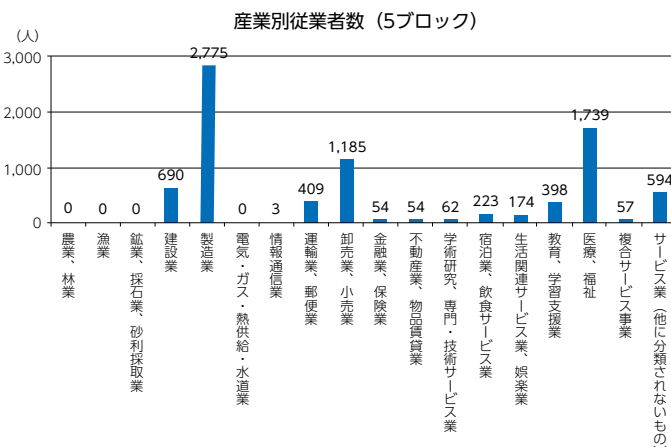
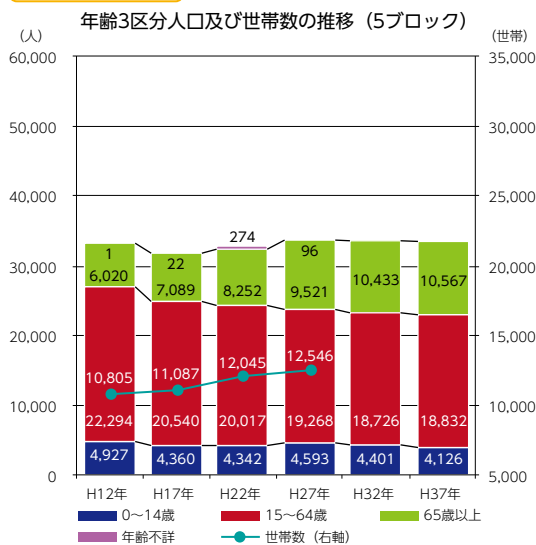


紀の川河川敷の風景



第5ブロック 三田・岡崎・安原・西山東・東山東地区

人口等の状況



《地域の特性》

- 本ブロックの東部は山林や田畑が多く、個性あふれる景観と豊かな自然環境に恵まれています。
また、市民に自然と農業に親しむ場を提供する農業振興の拠点施設、四季の郷公園があります。
- 地域を横断する和歌山電鐵貴志川線は公共交通機関として地域生活を支えるのみならず、観光資源としても注目されています。
- (仮称)和歌山南スマートインターチェンジ及び地域内の幹線道路等の整備が進むことにより交通利便性の向上が期待されています。
- 本ブロックを東西に流れる河川は、農業用水として活用されるなど地域に欠かすことのできないものですが、河川氾濫による浸水被害を度々もたらしています。ブロック内の各地区では、防災・減災への取組が活発に行われています。
- 歴史・文化資産として伊太祁曽神社や龍山神社、武内神社、岡崎団七踊などがあります。
- 子供や障害のある人など、すべての人にやさしい良好な地域コミュニティの形成に向けた取組など、より良い地域づくりに向けた住民主体の活動が活発になりつつあります。



豊かな自然環境



(仮称)和歌山南スマートインターチェンジ
※H28年4月時点のイメージであり、実際とは異なる場合があります。



みつわ祭り

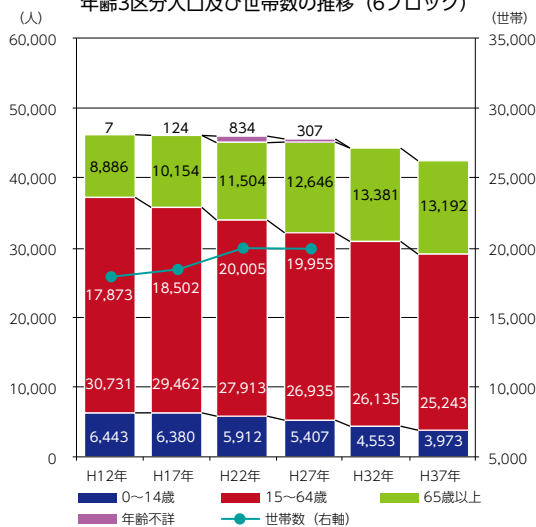


伊太祁曽神社

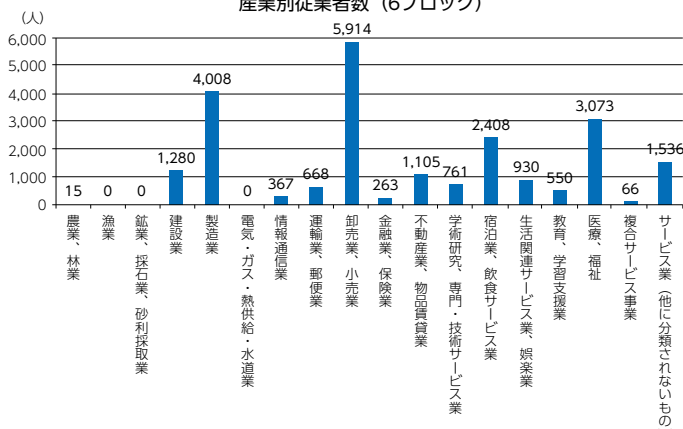
第6ブロック 宮・宮前・宮北地区

人口等の状況

年齢3区分人口及び世帯数の推移（6ブロック）



産業別従業者数（6ブロック）



《地域の特性》

- 本ブロック北西部のJR和歌山駅周辺、国体道路及び宮街道沿いに商業施設が、北部の大門川沿いに染色工場等が、南西部の和歌川沿いに化学工場等が集積しています。その他はおおむね住宅地となっており、特に、北部では高層マンションの新規立地等もあり、人口が近年増加しています。
- JR和歌山駅にJR阪和線・紀勢本線・和歌山線及び和歌山電鐵貴志川線が乗り入れ、南北に国体道路、東西に宮街道が通る交通の結節点となっています。また、JR和歌山駅は、関西国際空港から電車やリムジンバスを利用して訪れる国内外観光客等の本市玄関口となっています。
- ビッグ愛やビッグホエールは、年間を通じてコンベンション*⁹²、スポーツ大会、コンサートが開催されるとともに、災害時の広域避難場所に指定されています。
- 日本で最も歴史のある神社の一つである日前宮（日前神宮・國懸神宮）や羽柴秀吉による日本三大水攻めの舞台の一つである太田城址や縄文時代の遺跡*¹⁰である鳴神貝塚をはじめ遺跡が多数あり、多くの歴史・文化資産を有しています。
- 多様な主体が連携する中で、高齢者や子供の見守り、健康づくり、防犯、防災、美化活動、祭りや太田城の歴史伝承の活動等を通じて、世代間交流を図りながら、地域住民自らが積極的に地域づくりを行っています。



JR和歌山駅東口



ビッグホエール



日前宮



太田城址碑

《地域づくりの基本的な考え方》

- わかちか広場を整備し、県都玄関口としての機能を充実させるとともに、市街地再開発*¹⁰³ 事業等を通じて生活の利便性を向上させることにより、まちの魅力を高め、既存市街地への居住を促進します。
- 市駅和佐線の整備を行い、阪和自動車道へのアクセス改善等を進めます。
- J R 和歌山駅周辺等に、より一層の商業施設の集積を図るとともに、和歌川及び大門川沿いにおける工業の活性化を図ります。
- ビッグ愛やビッグホエール等の大型収容施設を活用してコンベンションやスポーツ大会等の誘致を促進し、賑わいの創出を図るとともに、まちの美化活動等に取り組み、来訪者がホスピタリティを感じることができるようまちの魅力向上を図ります。
- 高齢者や子供の見守り、シニアエクササイズや地域医療と地域の連携によって行われるフラダンス等を通じた高齢者の健康づくりへの取組、防犯、防災、美化活動、盆踊りや子供神輿等の地域性のある祭り、歴史伝承の活動等を通じて、一人ひとりが地域の絆を感じながら、支え合い安心して生活できる地域づくりを進めます。



シニアエクササイズ

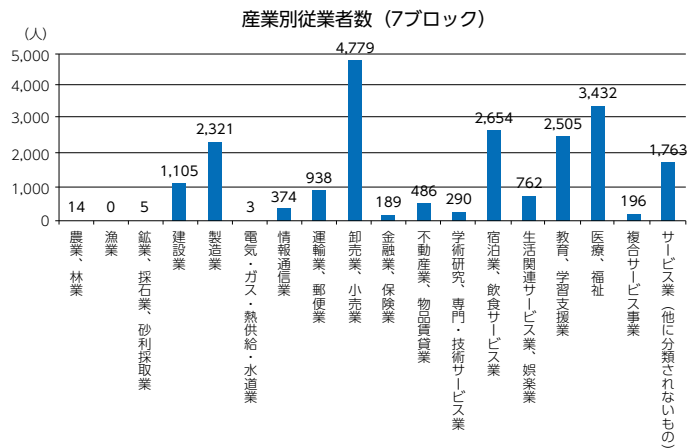
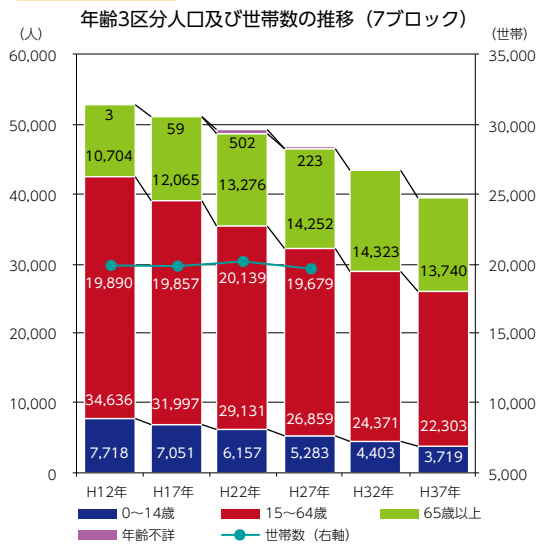


東の宮恵比寿神社



第7ブロック 雑賀・雑賀崎・田野・和歌浦・名草地区

人口等の状況



《地域の特性》

- 本ブロック北西部の工業地域、大根の産地として有名な南西部の農地及び名草山周辺を除いてはおおむね住宅地域となっています。また西部の風致地区は瀬戸内海国立公園にも位置づけられています。
- 臨海部には工業団地が形成されているとともに食品等の円滑な流通を下支えする中央卸売市場があります。また、国道42号及び大浦街道沿いには商業施設が立地しています。
- 地域を縦断する国道42号、大浦街道、また、横断する南港山東線は、地域生活を支える重要な幹線道路であるとともに、国道42号などは災害時に緊急輸送道路^{*53}として利用されます。
- 和歌山県立医科大学附属病院は、県下唯一の特定機能病院^{*213}であり、県下全域の医療の中心的な役割を担っています。災害医療では総合災害拠点病院^{*175}として、救急医療では高度救急救命センターとして、がん医療では、県がん診療連携拠点病院^{*34}として指定されています。
- 海のレジャーを楽しめる3つのビーチや親子つりパーク、二度の国体のメイン会場となったスポーツ施設を含む紀三井寺公園、秋葉山公園、さらには、テーマパークやマリレジャーの店舗、宿泊施設が立地し、多様なレクリエーションを楽しむことができます。
- 雑賀崎地区、田野地区には昔からの漁業集落があり、青石で形成された海岸に張り付くように家屋が建ち並び、独特のまちなみとなっています。また、古くから「万葉集」の歌枕として詠われた風光明媚で知られる和歌の浦エリアでは、干潟や片男波を望む風景が万葉の時代から受け継がれており、国の名勝^{*260}に指定されるなど、現在まで人々を魅了しています。
- 紀三井寺や不老橋をはじめ、養翠園、湊御殿、紀州東照宮、和歌浦天満宮、玉津島神社等の歴史的施設が数多くあります。
- 地域の魅力を生かしていこうという取組や防災訓練、地域バス^{*190}など住民主体の活動が活発です。



海水浴場



紀三井寺



おもてなし活動



まちなみ・景観

《地域づくりの基本的な考え方》

- 南港山東線などの幹線道路の整備を進め、日常生活の利便性の向上を図り、良好な市街地の形成に努めます。
- 紀三井寺や不老橋をはじめとした歴史・文化資産、美しい景観やテーマパーク、海水浴場といった地域資源を生かし、サイクリングロードの整備、地域住民による名勝の維持・保全や清掃などのおもてなし活動により観光地として更なる魅力向上を図ります。また、中央卸売市場に隣接する道の駅の整備や港周辺の整備・緑化を促進するなど、港湾エリアの賑わいづくりを図ります。
- コンベンション*⁹² やスポーツ大会等の誘致を促進し、ビジター増加による観光振興、商業振興を図ります。
- 独特の地形、自然と人々の営みが調和し古来より守り育ててきた景観、地域独自の音頭や風習を未来に継承していきます。
- 漁業地域では鮮魚の直売など、漁業による地域おこしを推進します。また、農業地域では大根畑などの保全に努め農業振興を図ります。
- 神輿を担ぐ伝統的な祭り、地区の運動会や盆踊り、ボランティア活動などを通じて地域コミュニティの形成に努めます。また、和歌祭においては、その活動を通じて地域の絆を深めるとともに、県外からも人を呼び込み、賑わいの創出を図ります。
- 大規模な地震を想定しての防災訓練、災害時の助け合い登録書の作成などの活動を通じて防災意識を高めるとともに、子供の見守り活動や高齢者の健康づくりを行うなど、子供から高齢者まで安心して過ごせる住みよいまちをめざします。



鮮魚の直売

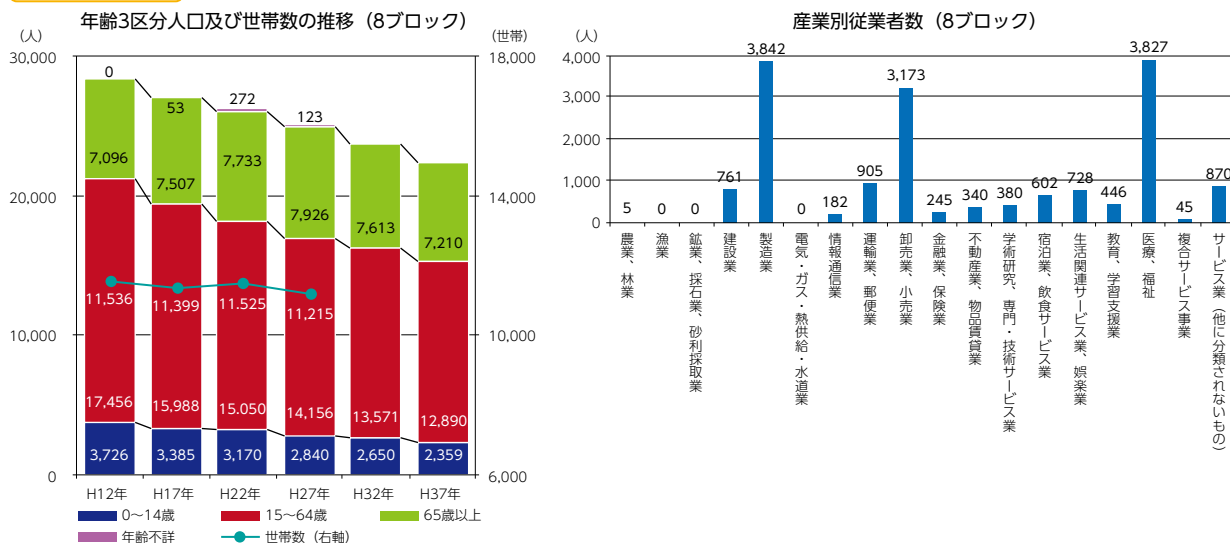


盆踊り



第8ブロック 吹上・砂山・今福・高松地区

人口等の状況



《地域の特性》

- 本ブロックの西部は主として化学企業などが事業展開する工業地域となっており、中・東部は国道4号沿いの商業、和歌川沿いの工業を除く大部分が中心市街地*¹⁹⁸から近く利便性の高い住宅地となっています。
- 和歌山本港区内は港湾物流の拠点であり、和歌山港フェリーターミナルや南海和歌山港駅が立地しています。
- 地域を縦断する国道4号、大浦街道、横断する寺町通り、整備予定の今福神前線があり、交通の利便性が向上しつつあります。
- 産業面では、化学工場等により製造業の比率が高くなっています。
- 日本赤十字社和歌山医療センターは、高度救命救急センター*⁷⁶、地域がん診療連携拠点病院*³⁴、総合災害拠点病院*¹⁷⁵として地域医療の中心的な役割を担っています。
- 和歌山市夜間・休日応急診療センターは、初期救急医療の中心的役割を担っています。
- 県立和歌山商業高等学校、県立桐蔭高等学校などの教育機関や県立図書館、県立近代美術館、県立博物館などの社会教育施設が立地しています。
- 地域住民が参加する祭りが神明神社、宇須井原神社等で開催されるとともに、花火をメインとする港まつりは夏の一大イベントとして賑わいを創出しています。
- 寺町通りには無量光寺をはじめ、現在も多くの寺院が並んでおり、城下町のたたずまいを残しています。
- 地域住民が積極的にまちづくりに参加しており、官民協働*⁴⁹でのまちづくりが進んでいます。



無量光寺



地域住民主体のまちづくり

《地域づくりの基本的な考え方》

- 臨海部及び和歌川沿いに発展している工業地域、主要道路沿いに立地している商業、利便性の高い中・東部の住宅地を維持し、良好な市街地の形成に努めます。
- 今福神前線などの道路整備を進めるなど、交通の利便性を高めます。
- 1次医療、2次医療、3次医療の最適化を図るなど、医療の拠点エリアの一つとして医療環境の充実に努めます。
- 和歌山港フェリーターミナル周辺を海の玄関口として機能の維持向上に努めるとともに、港湾を生かした観光振興を図ります。また、無量光寺、報恩寺や恵運寺など多くの寺院が立ち並び寺町通りを生かし、歴史・文化を大切にしたまちをめざします。
- 地域住民参加型の美化・緑化活動や桜まつり、夏祭り、七夕祭り、社会福祉施設と連携した祭りなどにより地域コミュニティの形成に努めるとともに、港まつりや紀州よさこい祭りなどにより賑わいを創出していきます。
- 教育関連施設の集まる充実した環境のもと、地域と学校の連携による子供見守り隊などの活動や防災訓練など住民主体の多様な地域活動を通じ、子供をはじめ誰もが安全・安心に暮らせる地域をめざすとともに、次世代を担う子供たちが住みたくなる地域をめざします。



道路整備



美化・緑化活動



桜まつり



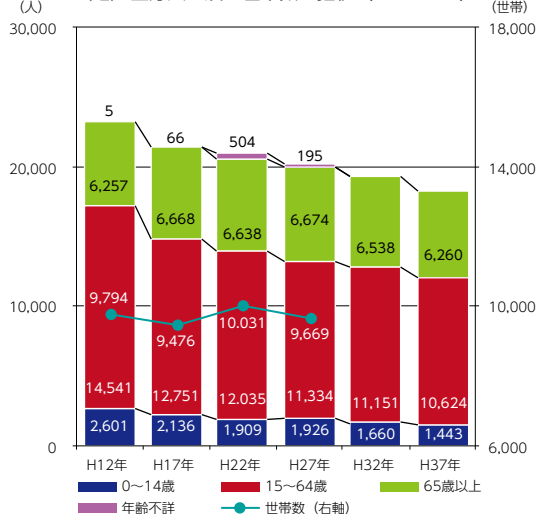
子供見守り隊



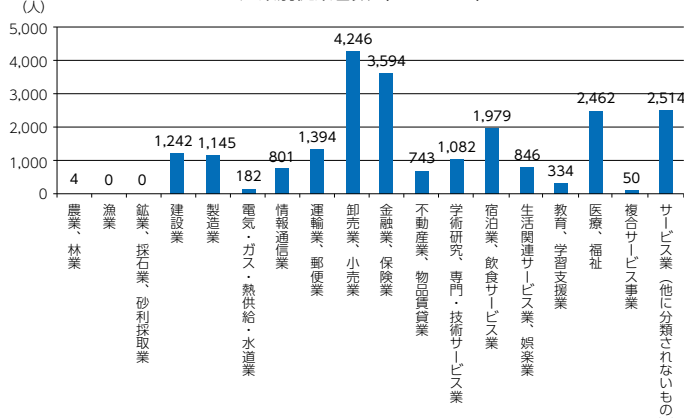
第9ブロック 本町・城北・雄湊・中之島地区

人口等の状況

年齢3区分人口及び世帯数の推移（9ブロック）



産業別従業者数（9ブロック）



《地域の特性》

- 和歌山城を中心に県庁や市役所、全国展開する企業の支店等が集まり中心市街地*¹⁹⁸を形成しています。地域の中央部に商業地域、これを取り囲むように住居地域や工業地域が広がっています。
- 市内でも公共交通網が充実している地域の一つで、南海和歌山市駅の交通ターミナルを起点とした鉄道・バス路線は、本地域と周辺地域を結ぶネットワークであるとともに、大阪方面等へのアクセスを可能とする交通の要となっています。
- 卸売業、小売業、金融業、保険業などの商業機能や行政機能が集積し、道路網などの公共インフラが整っている利便性が高い地域である一方で、利活用が十分になされていない遊休不動産への対応が課題となっていますが、これを生かしたリノベーション等によるまちなか再生の取組が始まっています。
- 済生会和歌山病院は、大規模災害時に災害支援病院*⁹³としての役割を担っています。
- 和歌山城のほか、和歌山県庁や西本ビルなどの味わいのある近代建築物、市民会館や市民図書館などの文化施設が立地し、市立学校では初めての小中一貫の義務教育学校が導入されるなど、文化・教育面での特色が見られます。
- 集客力のある和歌山城を有している観光振興面でも中心的なエリアであり、紀州おどり「ぶんだら節」や竹燈夜などイベントが数多く開催されています。
- 各地区で行われている地域に根ざした祭りのほか、紀州よさこい祭りをはじめとした地区内外の市民が主体的に創り上げるイベントが開催され、官民連携による新たな賑わいづくりが進みつつあります。また、地区での防災訓練や住民による子供の見守りなど、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。



南海和歌山市駅



ぶらくり丁



近代建築物



市を代表する行事
(紀州おどり「ぶんだら節」)

《地域づくりの基本的な考え方》

- 市街地再開発*¹⁰³、市民会館や図書館などの公共施設の整備、大学の誘致等を通じて県都としての都市機能の向上を図るとともに、遊休不動産の再生や利活用*²⁶³を促し、民間投資を呼び込むことで高い利便性と魅力を併せ持つまちなか居住*²⁵⁶空間を創出して賑わいのある中心市街地の形成をめざします。
- 市内各地域及び大阪方面等との公共交通ネットワーク*⁷³の維持・充実を図ります。
- 本市のシンボルである和歌山城周辺エリアの景観保全など魅力を高める取組のほか、紀州おどり「ぶんだら節」など市を代表する行事の継承を図り、これらを生かした観光活性化による交流人口の増加を通じて、賑わいあるまちの創出を進めます。
- 防災公園の整備や防犯に向けた取組等により、安心感を持って安全に暮らせるまちづくりを進めます。地域独自の文化継承の取組や商店街と連携したまちづくりの会議、PTAなどによる地域の祭りや子供の見守り活動などの住民主体の活動を通じて、地元への愛着心を育むとともに魅力的な地域づくりをめざします。



和歌山城



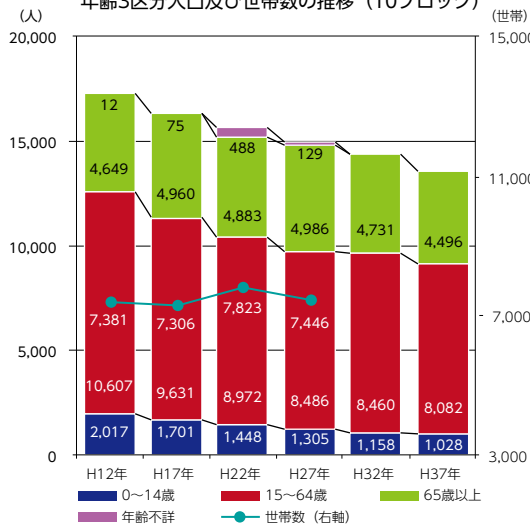
紀和駅前公園(防災公園)



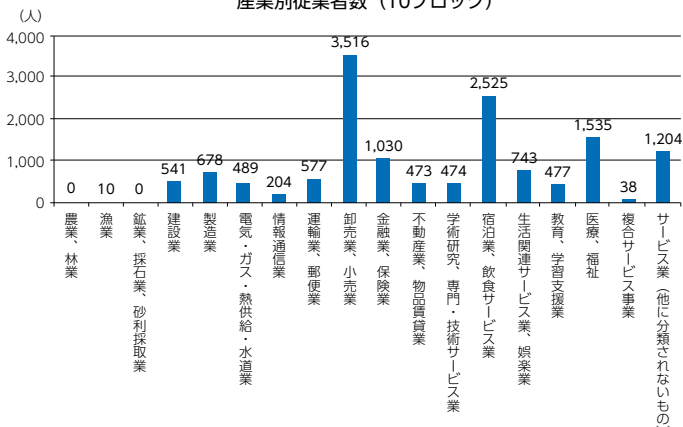
第10ブロック 新南・大新・広瀬・芦原地区

人口等の状況

年齢3区分人口及び世帯数の推移（10ブロック）



産業別従業者数（10ブロック）



《地域の特性》

- 本ブロックは、市のほぼ中央に位置し、ＪＲ和歌山駅周辺には商業施設が集積するとともに、和歌川の周辺等では工場の立地も見られます。また、住宅については、比較的中高層住宅が多くなっています。
- 市内でも公共交通網が充実している地域の一つで、本市の主要な玄関口であるＪＲ和歌山駅の交通ターミナルを起点とした鉄道・バス路線は、本地域と周辺地域を結ぶネットワークであるとともに、大阪や県内各地等へのアクセスを可能とする交通の要となっています。
- 皮革や化学などの工業や卸売業・小売業が盛んであるとともに、アロチ周辺には多くの飲食店が軒を連ね、県下随一の歓楽街となっています。
- 稼働率が高い中央コミュニティセンター*⁹⁰などがあり、文化的な活動が活発に行われています。また、八代将軍徳川吉宗公ゆかりの刺田比古神社など、歴史・文化資産が存在しています。
- 地域が一体となった祭りなどの行事の開催により、住民同士の交流が盛んであり、地域コミュニティが形成されています。
- 地域活性化のための住民主体の地域づくりや子供見守り活動、防犯活動など市民による自主的活動が行われています。



中央コミュニティセンター



ふれ愛センター



刺田比古神社

《地域づくりの基本的な考え方》

- マンション等の建設促進や空き家等の利活用を進め、既存市街地への居住を誘導するなど土地の高度利用・有効利用を推進します。また、商業機能の維持・充実により生活の利便性向上を図ります。
- まちなかの緑や和歌川の水辺空間などを生かし、レクリエーションや市民緑化活動を促進することで、賑わいと潤いが共存する都市環境の創出を図ります。
- 本市の玄関口であるＪＲ和歌山駅周辺の活性化に向けて、わかちか広場などの整備を進めるとともに、市内各地域及び大阪・県内各地等との公共交通ネットワーク*⁷³の維持・充実を図ります。
- 皮革産業をはじめとした地場産業*¹¹⁴等の高付加価値化を図るとともに、まちなかでの新規出店や遊休不動産の再生や利活用*²⁶³を促進することで、地域産業の活性化と魅力的な店舗の集積を図ります。
- 刺田比古神社、瓦文化などの歴史・文化資産を生かし、地域独自の文化を継承するとともに、イルミネーションの実施などにより、まちなかの賑わい創出を図ります。
- 三世代交流イベントや夏祭り、七夕祭り、盆踊りなど地域が連携した祭りの開催により世代を超えた地域コミュニティの形成に努めます。また、地域住民が主体となり、学校等を拠点とした見守り・防犯活動、幹線道路や中心部の区域での美化活動を推進し、誰もが安心・快適に暮らせる地域をめざします。



大新公園



新南公園



芦原文化会館

